

食品ロス削減の取り組みと フードバンク・こども食堂活動等の連携

9月30日(金)14:30～16:00 セミナー会場【E】

【セミナー要旨】

農林水産省では食品事業者から発生する食品ロスの削減に取り組んでおり、食品ロスの現状・課題を踏まえ、2030年度までの事業系食品ロス半減目標の達成に向けた施策として、商慣習の見直しや、フードバンク活動の推進、消費者啓発の取組等を行っています。

今回は、フードバンクやこども食堂活動等に対し農林水産省が行っている施策をご紹介しますとともに、全国的に支援を行っている二つの団体の取組をご紹介します意見交換を行います。

【第一部：取組のご紹介】

● 農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部

外食・食文化課食品ロス・リサイクル対策室長

森 幸子 様

● 一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事

平野 寛治 様

● NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

湯浅 誠 様

【第二部：意見交換】

● ご登壇のお三方による意見交換

ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムのご案内

一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事 平野 覚治

MOWLS（ミールズ・オン・ホイールズ・ロジシステム）とは

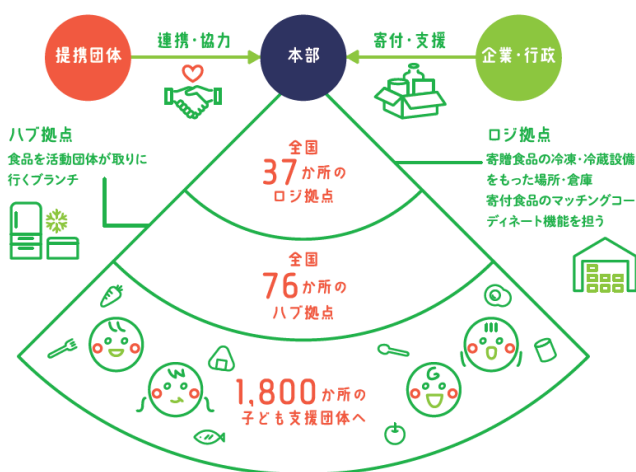
2020年3月より始動。全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステムです。食支援を行う団体や自治体が食品寄贈が受けやすいよう、冷凍・冷蔵設備を含む保管スペースをもつ拠点を全国に整備し、運営をサポートするWEBシステムの開発、企業・行政への学習会を開催しています。



▶当会について：<http://www.mow.jp>

▶MOWLSについて：<https://mow.jp/mow-ls/index.html>

MOWLS の仕組み



中核ロジ拠点



県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫
大型トラック・パレット納品に対応が可能

ロジ拠点



大量の寄贈食品の保管機能をもった拠点
常温・冷蔵・冷凍の3温度帯に対応が可能

ハブ拠点



ロジ拠点の支店 全国1800の活動団体が取りに行ける距離に設置され
冷凍・冷蔵設備を有する

●中核ロジ拠点設置イメージ



プロジェクトとともに進める物流・食品企業様を募集

【プロジェクト開始】2022. 7. 21～

【募集期間】2022. 10. 1～2023. 10. 1

MOWLSを推進するうえで課題になっている物流・保管の問題を解決すべく、有志メンバーとプロジェクトを立ち上げ、具体的な取り組みが始まりました。ともにプロジェクトくださる物流事業者様・食品メーカー様を募集します。10月4日にはMOWLSとプロジェクトの立ち上げについてご案内するシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

2022. 10. 4(火)開催 シンポジウム「MOWLS物流支援プロジェクト」

日時 2022年10月4日（火）14時～16時
会場 飯田橋レイナービル【2C会議室】（オンライン兼）
詳細 当会HPをご参照ください



詳細はこちら お申込はこちら

むすびえの活動について

「誰もとりこぼされない社会を日本でつくりたい」という思いで、
むすびえは幅広く活動しています。



撮影：2019年

子ども食堂について

子ども食堂の輪が全国に広がっています。
“地域交流拠点”と“子どもの貧困対策”という
2つの役割をもつ子ども食堂は、
この5年で18倍以上に増えました。

「子ども食堂」は子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。子ども食堂は民間発の自主的・自発的な取り組みです。しかし、それゆえ運営を支援する公的な制度などが整備されていないにもかかわらず、子ども食堂の数は増加の一途をたどっており、現在その数は全国で約6,000箇所にものぼっています。

むすびえの3つの事業

1 地域ネットワーク支援事業

子ども食堂が個性を発揮しながらつながり資源と想いの循環が進むように支援します

子ども食堂の立ち上げ支援、運営者のネットワークづくり、行政・関係団体との連携、寄付物品の仲介、情報提供など、地域ネットワーク団体の活動サポート

2 企業・団体との共同事業

社会の多様な主体が子ども食堂とつながり社会性・市民性の発揮が進むように支援します

企業・団体等との協働による、子ども食堂の安心・安全を高める活動、子どもたちにさまざまな体験を届けられるプログラムの提供など

3 調査・研究事業

地域・社会の現在地を可視化・考察し社会に問いかけ認知変容を促します

子ども食堂が社会の「あたりまえ」となり、より多くの子どもたちがアクセスできるようになるための必要な調査・研究

企業とのパートナーシップ

1 食材支援+α



必要なところに
顔の見える支援

日本全国支援

むすびえのネットワークを通じて必要とする子ども食堂に直接支援することができます。必要な子ども食堂に手をあげてもらって配布することができます。顔の見える支援が実現可能です。※配送料、仲介手数料あり

2 フードロス支援+α



地域に貢献する
つながり作り

拠点ベースの地域貢献

工場・物流拠点に近い子ども食堂に支援することができる。地域に密着した社会貢献活動になります。ボランティアなど活動の展開に幅が広がります。子ども食堂への貢献活動に地域住民と一緒に貢献することができます。

3 寄付付き商品で認知度向上支援



身近なところから
エールを送る

寄付付き商品は何か社会貢献をしたと考えている購入者の皆さんの共感を得られます。また子ども食堂運営者の皆さんへの大きなエールになることも。購買意欲醸成とともに子ども食堂の認知向上プロモーションとして貢献します。

4 器具・設備の提供



サポートの形は
さまざまです

1回の開催辺り平均60人以上が参加する子ども食堂は様々な備品を必要としています。食品だけでなく運営環境を整える支援も大変喜ばれます。キッチン家電・お弁当容器・食器・洗剤・衛生用品など日々の活動を支える貢献が可能です。

実績：お米、生鮮食品、冷凍食品、菓子、給食関連食品、季節ズレ品など

農林水産省におけるフードバンクへの支援事業

スタートアップ、先進的取組への支援

(令和4年度当初予算) 食品ロス削減総合対策事業のうちフードバンク活動支援【90百万円】

1. フードバンク活動団体のスタートアップ支援

設立間もない団体等に対して

- ① **検討会や研修会開催**(定額補助)、
- ② **運搬用車両、一時保管用倉庫**(冷蔵庫・冷凍庫を含む)等の賃借料(1/2補助)を支援。

2. フードバンク活動団体の先進的取組支援

広域連携等、**先進的な取組**を行うフードバンクに対して、その取組に**必要な経費を支援**(1/2補助)。

食品の受入れ・提供の拡大への支援

(令和3年度補正予算) フードバンク支援緊急対策事業【194百万円】

子ども食堂等向けの**食品の受入れ・提供を拡大**するために必要となる**運搬用車両、一時保管用倉庫**(冷蔵庫・冷凍庫を含む)等の賃借料、**輸配送費を支援**(定額補助)。
(上限額500万円/団体。複数都道府県での活動や他団体と連携する場合は1,000万円へ引上げ。)

活動強化に向けた専門家派遣等

(令和4年度予備費) フードバンク活動強化緊急対策事業【123百万円】(委託)

1. 専門家派遣等

食品の取扱量拡大、食品提供元となる企業や食品提供先となる子ども食堂等とのマッチング、活動計画策定等に必要なノウハウ獲得を促進するため、**専門家派遣等**によるサポートを実施。

2. ネットワーク強化

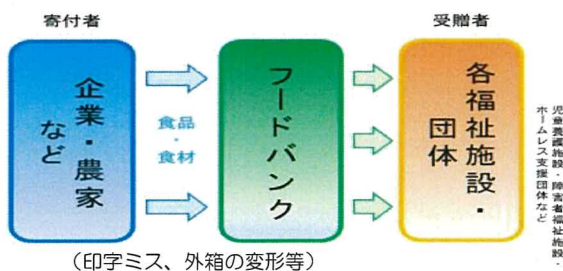
食品の取扱量拡大に向け、食品企業や子ども食堂等とのマッチングやフードバンク間のノウハウ共有等を推進するため、**情報交換会等のネットワーク強化のサポート**を実施。

(参考リンク集) 食品ロス削減の取組にあたり、御活用ください！

フードバンク

フードバンク活動について

(活動団体一覧や取組状況、手引き等を御紹介)



■ フードバンクに関する情報はこちら↓

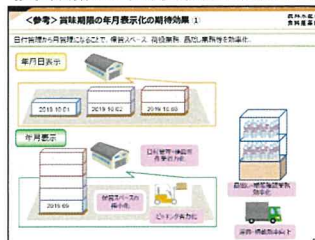


※フードバンク活動団体一覧(令和4年3月31日時点版(178団体))や、フードバンクへの食品提供・寄附に係る税制上の取扱いについての情報を確認いただけます。

食品製造業向け(事例、各社の取組状況)

賞味期限表示の大括り化について

(賞味期限の年月表示化の概要や効果、各社の取組状況を御紹介)



■ 概要や効果はこちら↓



■ 賞味期限表示の大括り化の実施メーカー一覧等はこちら↓

※令和3年10月時点で223社が取り組んでいます(予定含む)。事業者名一覧も御覧いただけます。



食品小売業向け(各社の取組状況など)

納品期限の緩和について

(納品期限緩和の取組の概要や効果、各社の取組状況を御紹介)

■ こちら↓

※令和3年10月時点で186社が納品期限の緩和に取り組んでいます(予定含む)事業者名一覧も御覧いただけます。



啓発に使えるもの

小売店で消費者啓発に使えるポスター等

(全部で12種類、サイズもいろいろ!)

■ ダウンロード→

